



ふれあい

編集発行

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会
〒044-0121 北海道虻田郡京極町字三崎68番地
TEL(0136)42-3681 FAX(0136)41-2031
Eメールアドレス
kyogoku-fukushi@blue.ocn.ne.jp
ホームページアドレス
<http://www.shakyo.or.jp/hp/63/>

この広報は赤い羽根共同募金の助成金で印刷されています。

ふまねっと・ニュースポーツサロン 会えない期間でもつながりを感じる「交流掲示板」



地域の高齢者が介護予防・社会参加を目的として主体的に活動している「ふまねっと・ニュースポーツサロン」では、毎週楽しく笑いながら体を動かし、顔を合わせて笑い合える時間を大切に活動しています。

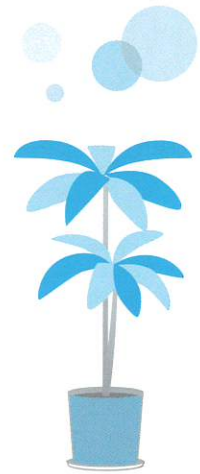
現在はコロナウイルスの影響で2月から活動を自粛していますが(7月9日から活動再開)、そんな状況でもできる活動をサポーター中心に考え、自宅のできる脳トレ資料や運動メニューに取り組んでいます。さらに、商工会バスターミナルに「交流掲示板」を設置し、応援メッセージを共有。運動も兼ねて商工会館まで歩き、会えない期間でもメッセージでお互いを鼓舞し合っています。事態が収束し、また笑って集まれるようになるまで、それぞれで介護予防・交流に取り組んでいます。

ふれあい広場・ほかほかまつり 開催中止

新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ感染拡大防止を図る観点から、今年度の開催を中止します。ご理解と協力をお願い申し上げます。

社会福祉法人 京極町社会福祉協議会

令和2年度 基本方針



毎月発行される町の広報で生まれた人と亡くなった人の欄を見ると、亡くなった人が生まれた人より多いことから、京極町の人口の自然減を実感させられます。これに加えて社会的経済的な原因からも人口が減少していると思われれます。少子高齢化そして過疎化が目に見えて現実の課題になってきました。財政的には税収が少なくなる反面、高齢者が増えることにより福祉的施策による出費が増え続けることになりました。これまでの公的機関(行政)に依存した支援策では

住み心地の良い地域づくりはできなくなります。そのため、社協としては行政ができない課題は地域に住む住民が互いに助け合うシステムづくりが求められています。

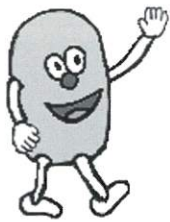
共生型地域福祉拠点「きょうごく」は住民相互の助け合いの拠点を目指しております。拠点の運営はNPO法人きょうごくへ委託して形としては住民主体の運営形態になりましたが、実際は、まだ支えが必要で、社協としてはできる限り側面的支援をして、NPO法人の主体的運営ができる組織への育成を行い、支えあいステーションのような住民同士の助け合い活動の拠点到します。

ちよこつと体操やそれを支えるサポーター養成な

どの地域介護予防事業を展開してきましたが、その中で「つどいの場」が多く造られてきました。「つどいの場」が単なる介護予防の場になるだけでなく、「いきいきサロン」のような地域の仲間づくりや互助活動のできる集団につながることを期待されています。

介護保険が改正されることに、デイサービス、ホームヘルプサービス事業の赤字運営が課題になってきました。介護保険報酬の削減や利用者数の制限などの収入減から人件費の削減等、経営的努力をしてきましたが、これ以上の削減はサービスの低下になります。施設入所の制限から在宅サービスの充実が求められる中、デイサービスやホームヘルプサービスの在宅サービスの質を低下させることはできません。

今年度は「昨年に役場と共同で策定した「地域福祉計画」の「地域福祉実践計画」について進捗状況にあわせて事業を展開し、次回の策定に向けて準備する年度でもあります。予算の編成において財政的に厳しい状況にありますが、社協のサービス提供が量・質を落とさないために多くの住民や関係者の皆様に「社協の活動」の理解を深める年度にします。



令和2年度収支予算

【支出の部】

科 目	予算額 (円)
人件費	132,789,000
事業費	8,849,000
事務費	30,157,000
貸付事業支出	800,000
共同募金配分金事業費	2,110,000
助成金支出	60,000
負担金支出	234,000
ファイナンスリース債務の返済支出	672,000
積立資産支出	6,880,000
予備費	50,000
支出合計	182,601,000

【収入の部】

科 目	予算額 (円)
会費収入	1,300,000
寄付金収入	1,000,000
補助金収入	39,850,000
受託金収入	92,118,000
事業収入	1,218,000
貸付事業等収入	700,000
介護保険収入	42,433,000
受取利息配当金収入	10,000
積立預金取崩収入	3,972,000
収入合計	182,601,000

令和元年度 決算報告

【貸借対照表】

(令和2年3月31日現在) (単位:円)

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	15,449,775	流動負債	15,021,383
現金	48,956	未払金	5,086,738
預貯金	5,422,913	1年以内返済予定	671,328
未収金	9,232,216	預り金	1,401,025
立替金	22,560	仮受金	7,862,292
前払金	723,130		
仮払金	0		
固定資産	86,217,707	固定負債	42,916,117
基本財産	1,591,613	リース債務	1,398,600
定期預金	1,591,613	退職給与引当金	41,517,517
その他の固定資産	84,626,094		
土地	3,000,000		
建物	4,839,220		
機械及び装置	2		
車輻運搬具	732,294		
器具及び備品	1,244,875		
無形リース資産	2,013,984		
退職給付引当資産	41,914,718		
その他の積立金	30,881,001		
福祉基金	3,912,422		
愛情資金積立金	6,394,707		
奨学基金積立金	10,358,646		
未来へつなぐ夢基金	8,869,226		
愛情資金貸付金	1,346,000		
資産の部合計	101,667,482	負債及び純資産の部合計	101,667,482

【資金収支決算】

(単位:円)

収入の部	決算額
会費収入	1,112,000
寄付金収入	1,552,194
補助金収入	35,587,553
受託金収入	89,089,208
貸付事業等収入	506,261
事業収入	1,500,490
介護保険収入	38,299,202
受取利息配当金収入	1,349
積立資産取崩収入	8,808,200
その他の活動による収入	976,319
前期末支払資金残高	1,027,548
収入合計①	178,460,324

支出の部	決算額
人件費支出	125,725,125
事業費支出	8,826,337
事務費支出	31,391,498
共同募金配分金事業費	1,766,064
助成金支出	90,000
負担金支出	250,000
貸付事業等支出	1,065,000
固定資産取得支出	950,000
ファイナンス・リース債務の返済支出	671,328
積立預金積立支出	6,625,252
支出合計②	177,360,604

繰越金① - ②	1,099,720
----------	-----------

令和元年度賛助・一般会員報告

【期間:平成31年4月
～令和2年3月】

◎一般会費【町内世帯】 計1,120戸 ◎賛助会員【個人】

今年度も町民の皆様の温かい御厚志に対して厚くお礼申しあげます。ボランティア・市民活動、小地域活動などの事業や、在宅福祉サービス事業などへ活用します。

(敬称略)						菊地 憲一
松長 正憲	阿部 鋭右	桜 トシ子	堅田 芙美子	横川 広	大場美智子	佐藤 絹子
西方 清徳	竹浪クニ子	中村 恒男	小林 一男	藤沢 玲子	山田 雅	山中 艶子
堅田 光良	安藤 博	富成 邦彦	鳩沢 秀子	池元 豊	佐藤 明	山崎 一雄
有末 義美	中村美智子	菱田 英利	古館 祐子	柴山 悟	篠原 政彦	久保 英雄
片田 幸夫	大清水昭子	笹原 満雄	柳原 保	末吉 光恵	立川 勝雄	桜 貢
船場 実	長谷川 敦	佐藤 恭子	辻 征二	長壁千代子	多田 英男	大木 勝彦

※他匿名者多数

◎賛助会員【法人・団体】

(敬称略)

JAようてい京極支所	株式会社 中村組	京極町羊峰会	樋口電気工業 株式会社	有限会社 鎌田商店
株式会社 京極産業	京極町商工会	有限会社 藤沢デンキ	有限会社 古屋建設	養護老人ホーム慶和園
株式会社 桜組	ようてい森林組合	宗教法人 北神分教会	北海道信用金庫京極支店	ユニットケア慶和園
株式会社 鈴木商事	川崎建設株式会社	宗教法人 光寿寺	株式会社 羊蹄清掃社	
株式会社 高瀬製作所	菊地建設株式会社	宗教法人 広徳寺	有限会社 京極石油	計32件
株式会社 道南富士コン	京極建設株式会社	久保砕石工業株式会社		
株式会社 富成商店	菊地歯科医院	宗教法人 瑞法寺		
有限会社 赤木農産	㈱バイオニアフーズ	㈱ヤマトモリ		

京極町社協の活動を応援してください ～賛助会員の募集～

京極町社会福祉協議会では、活動に協力していただける賛助会員を募集しています。みなさまから頂いた賛助会費は、京極町の福祉サービスを推進する貴重な財源として、様々な事業に役立てています。京極町社協の活動に賛同いただける方につきましては、ぜひともご協力をよろしく願います。

会費 一口…1,000円

問い合わせ先 ☎0136-42-3681
京極町社会福祉協議会事務局 担当 藤波

居宅介護支援事業所

【令和元年度 居宅介護支援事業所 報告】

自宅での生活を希望される方のお手伝いを本年も実施している。自宅での生活を行われる方が多かった。特に終了ケース(図2参照)の亡くなられた内訳については医療機関へ入院後死亡ケースが多くなっている。特に癌患者のケース(9件中4件)が多くなっており住み慣れた自宅で過ごしたいと思ひご家族、介護保険サービスを利用しながら自宅で生活を行っている方が増えている。また、施設入所について特別養護老人ホームの入所基準が厳格化された点、施設入所を希望される本人、ご家族の町内の施設での生活を希望されており町内施設への意識が強くなっている。しかし、ご家族として十分な在宅支援を行うことの限界から入所を強く意識される方も存在するので、介護度の軽度者への支援サービスが充実されることにより、住み慣れた町内で施設入所をせずに生活することが出来るようになる。

年間居宅利用件数

令和元年度 / 件
4月 …… 51
5月 …… 49
6月 …… 49
7月 …… 54
8月 …… 53
9月 …… 54
10月 …… 54
11月 …… 57
12月 …… 56
1月 …… 52
2月 …… 47
3月 …… 46

図2 令和元年度 終了ケース内容

内容 / 件
死亡 …… 3
入院 …… 9
施設入所 …… 5
町外への転居 …… 1
包括への移行ケース …… 1
サービス終了 …… 2



【令和2年度 居宅介護支援事業所 目標】

1. 在宅生活を希望される方の支援の実施。
2. 地域包括ケアのさらなる充実のために居宅介護支援事業所としての協力を行う。
3. 事業所の給付件数を安定させて、安定した経営を行えるように努力する。



お問い合わせ

京極町社会福祉協議会
居宅介護支援事業所

☎42-3681 (担当:保村・佐藤)

訪問介護事業所

令和元年度事業報告

【令和元年度利用状況報告】

○訪問介護事業所では要介護者(1~5)39名の方にサービス提供をし、延べ227名利用されました(新規利用者14名、サービス終了者14名)。入院から在宅にもどらず施設入所や家族がいても介護量が増える在宅サービスだけでは難しくなり施設入所となるケースが増えています。

○サービス内容

サービス内容	年間実人数	サービス延べ回数
身体介護(通院・買い物・銀行等の付き添い・見守り調理)	39名	338回
生活援助(買い物代行・調理・掃除)	8名	118回
通院乗降介助(車の乗り降りが困難な方)	4名	20回

○介護予防・日常生活支援総合事業(要支援1・2)⇒4名、延べ回数69回利用されました(新規利用者2名)。

○障がい福祉サービスの利用実績はありませんでした。

令和2年度事業計画

- ①利用者が居宅にて自立した日常生活を営めることができるよう、介護全般にわたる質の高いサービス提供に努める
- ②居宅介護事業所、地域医療、行政等、各関係機関との連携を図る

住み慣れた環境と時間をいつまでも 共有できるように在宅生活をサポートいたします
【京極町社会福祉協議会 訪問介護事業所】



デイサービスだより

令和元年度事業報告

【令和元年度利用状況報告】

項目	令和元年度延人数	平成30年度	前年比
要介護1～5	3,445人	3,581人	-136人
要支援1～2	587人	597人	-10人
事業対象者	10人	0人	+10人
合計	4,042人	4,178人	-136人
稼働日数	223日	244日	-21日
1日平均	18人	17人	+1人

新規利用者・終了者

【新規利用者】

項目	令和元年度	平成30年度	前年比
要介護者	15名	12名	+3名
要支援者	2名	11名	-9名
事業対象者	1名	0名	+1名
合計	18名	23名	-5名

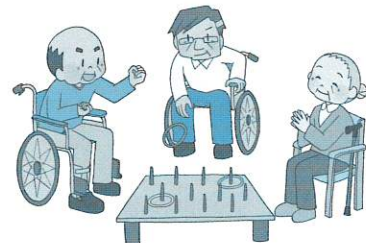
【利用終了・休止】

	令和元年度	平成30年度	前年比
合計	15名	17名	-2名

前年度に比べ、136人の減となっているが祝日増で稼働日数が少ない事から、一日の平均利用は1名増となっている。

新規利用については、悪性腫瘍や認知症など疾病を多く持った利用者が増え、疾病を抱えながら在宅生活を送るうえで、通所介護は必要な公的サービスになっている。

今後も利用者、ご家族それぞれの視点に立ち可能な限り、自立支援に取り組み、在宅生活が継続できるように寄り添いながら事業運営を図ってまいります。



令和2年度 事業計画

- 1.利用者一人一人の意思および人格を尊重し、利用者と家族の立場に立った適正な事業を実施し、利用者それぞれの目標を設定し、その実現に向けて取り組んでいく
 - 2.利用者の心身機能の維持向上や家族の身体的、精神的負担の軽減を図り、利用者が可能な限り在宅で自己の能力に応じて自立した日常生活を送れるように支援する
- 以上の2点を重点目標に掲げ、住み慣れた自宅での生活が続けられるように支援させていただきます。

デイサービスの取り組み

- 4/23～6/30までデイサービスセンターでは新型コロナウイルス感染防止対策を実施しておりました。
- 7/1より、通常の営業になりましたが、利用者の検温とマスク着用は継続し徹底しております。
- 営業時間10:00～14:30と時間を短縮して、ソーシャルディスタンスを保ちながら営業しておりました。
- 送迎もできるだけ3密を避けるよう配慮しておりました。

軽車両:職員1名・利用者1名 ミニバン:職員1名・利用者2名
ハイエース:職員1名・利用者3名



京極町地域包括支援センター

令和 元年度事業報告
令和 2年度事業計画

I. 総合事業、包括的支援事業を通じ、医療・介護・予防・生活支援の各分野と協同し、地域包括ケアシステムを構築していきます

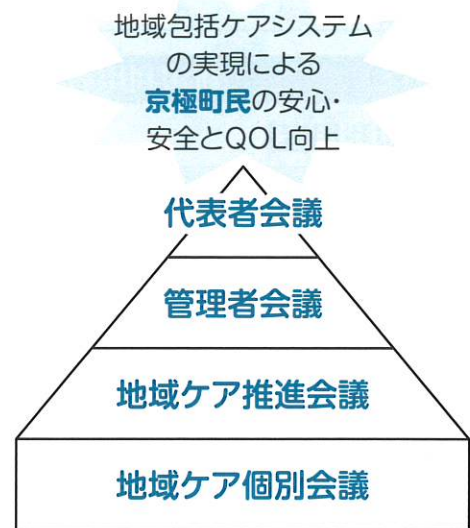
II. 地域ケア会議から出てきた地域課題の解決に向けた取り組みを行います

『地域包括ケアシステム』とは、『高齢者が住み慣れた地域で、尊厳ある生活を可能な限り継続できる体制』のことです。

III. 町内会単位で活動実績の分析を行い、町民への見える化、地区単位での働きかけの根拠とする



〈地域包括ケアシステムのイメージ図〉



〈地域ケア会議の構造〉

1. 地域ケア会議から見た地域課題の解決に取り組んでいきます。

- ①地域ケア個別会議で、高齢者の個別の課題解決のみならず、地域の課題も見つけていきます。
- ②地域ケア推進会議で、地域課題の解決策を考え、管理者会議に積極的に提案していきます。
- ③管理者会議・代表者会議で、地域課題の解決に向けた取り組みが具体的に進んでいくように健康推進課と共に事務局としての機能を果たしていきます。
- ④過去3年で抽出された地域課題の解決に向け、自らも取り組むと共に、関係機関にも取り組みを働きかけていきます。

2. 認知症の方にやさしいまちづくりを推進していきます。

- ①認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の方を温かく見守る認知症サポーターを前年度同様に100名養成し、町民の28%の養成率を目指します。
- ②まちの方に認知症カフェをPRしていきます。(認知症の方を介護しているご家族の居場所)
- ③あんしんネットワークの個人協力者を125名から150名に増やし、所在不明者発生時の早期発見につなげていきます。
- ④きょうごくちょう認知症ガイドブックがまちの方に広く活用されるようにPRしていきます。

3. これまでの取り組みを見える化し、今後の取り組みの判断根拠にしていきます。

- ①町内会別に相談内容の分析を行い、町内会単位でのアプローチを検討します。
- ②介護予防・介護保険サービスの利用状況や改善度について調べ、今後に役立てます。

《昨年度の主な活動》

1. 高齢者の主な相談状況（相談件数の多い順）

- ①介護保険 ②総合事業
- ③認知症 ④医療関係

※65歳以上1048名の21.8%の方に対応

2. 高齢者把握訪問

満80歳になった方と同居する高齢者 計32名

※32名のうち4名（12.5%）の方に継続支援を実施

3. 地域ケア会議のとりのくみ

- ①地域ケア個別会議 6回（事例5名）開催

検討した困り事：認知症3回・社会的孤立1回・世帯支援1回・介護1回

- ②自立支援型地域ケア個別会議 4回（事例8名）開催

検討した困り事：転倒予防4名・介護3名・病気3名・障がい2名・認知症1名

助言者として参加した専門職：看護師・言語聴覚士・理学療法士・作業療法士・管理栄養士・主任介護支援専門員・生活支援コーディネーター

- ③地域ケア推進会議 6回開催

検討した地域課題：社協で対応できない除雪の困り事の相談が多くある
・土日、夜間に提供できるサービスが少ない
・介護によって介護者の人生設計が立てづらい

4. 認知症の方にやさしいまちづくり

- ①認知症サポーター養成講座

9回開催128名養成

※認知症サポーターは613名で町民の23.3%に

- ②あんしんネットワーク

登録者：在宅4名・施設13名

協力機関：32機関・個人協力者：125名

- ③どんぐりカフェ 11回開催

- ④認知症ガイドブックを作成

5. 介護予防が必要な高齢者の把握

・65歳以上の方299名（28.5%）に基本チェックリストを実施

・介護予防が必要と判定された方が135名（約半数の方）

・介護予防が必要と判断された項目（多い順）

- ①物忘れ予防 ②うつ予防 ③口腔ケア
- ④運動機能 ⑤閉じこもり予防
- ⑥栄養改善

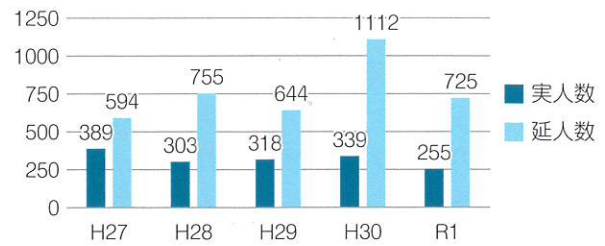
6. そのほか

・ケアマネージャー業務71名（総合事業利用者49名・要支援で介護サービス利用者22名）

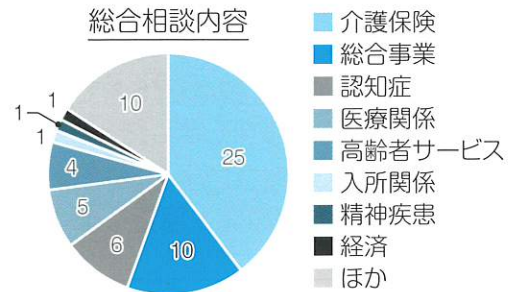
・高齢者虐待対応3件計16回話し合いを開催（心理的虐待2件・経済的虐待1件）

・中学3年生向け高齢者福祉教室 1回開催 35名参加

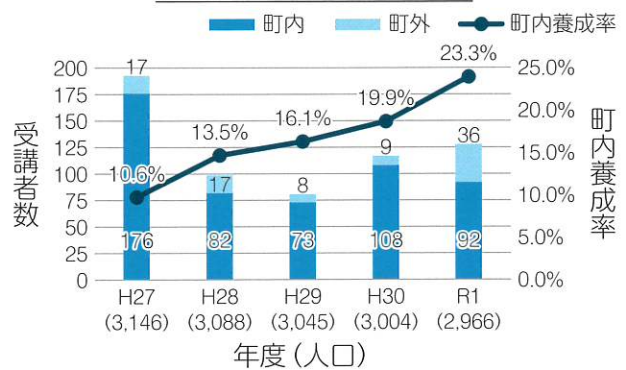
総合相談件数



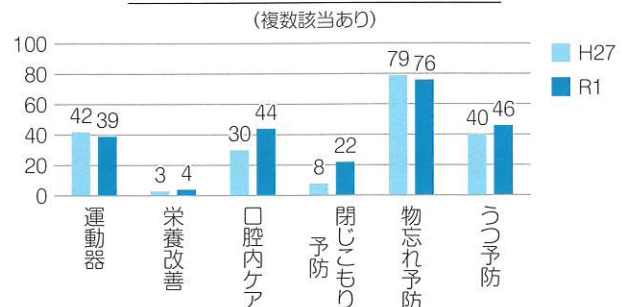
総合相談内容



認知症サポーター数の推移



基本チェックリスト該当者数比較



京極町介護予防センター

令和元年度事業報告
令和2年度事業計画

① 一般介護予防事業

つどいの場：新たに1か所誕生し、町内で活動しているグループは9か所になりました。参加延数は下の表に示した通り2797名と増加しています。2月末より新型コロナ感染予防のため活動は休止していますが、7月以降、感染対策をふまえて再開するグループもあります。

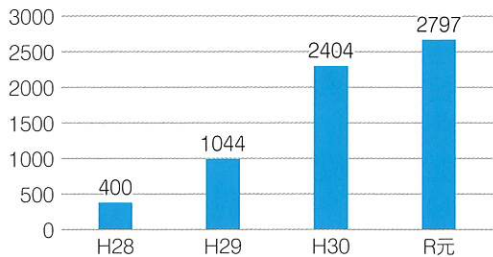
シャキッと会：参加延数は976名で、つどいの場の充実に伴い若干減少しました。

令和2年度は新型コロナ感染対策を講じながら、安全な方法での再開を目指します。

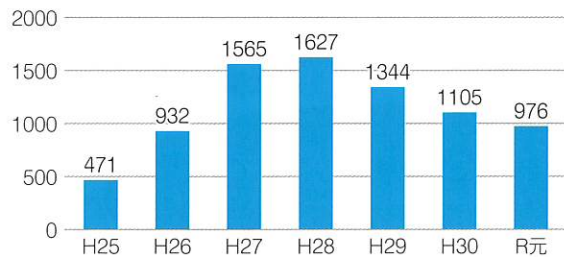


新規つどいの場「さわの会」

つどいの場参加延数推移



シャキッと会参加延数推移



② 介護予防通所型サービス事業

ミニデイサービスにこっと(通年)

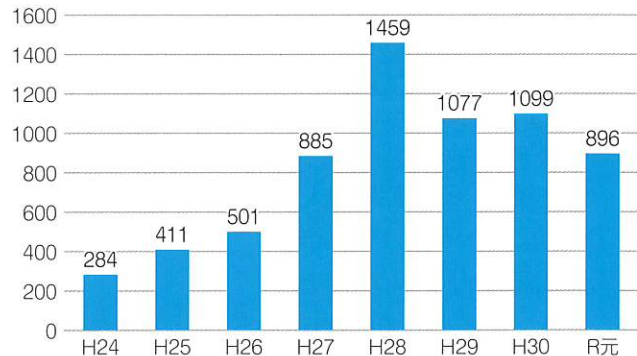
筋力アップ教室(3か月間×1回)

脳力アップ教室(5か月間×1回)

上記3事業の参加延数は右のグラフの通りです。

令和2年度は脳力アップ・筋力アップ教室ともに一旦休止し、よりよい教室の在り方を検討する1年と致します。

通所型サービス参加延数推移



③ 介護予防訪問型サービス事業

にこっと訪問サービス：利用者は実人数5名、延人数95名でした。今後も地域福祉拠点での支えあいステーションの充実に伴い、利用者は減少すると予想しています。

にこっと短期集中リハビリ訪問サービス：実人数1名、延人数8名にとどまりました。

令和2年度も同様の訪問サービスを実施していきます。

④ 男性の会立ち上げ支援

介護予防への参加が少ない高齢男性を対象に、生活支援コーディネーターと協働し、「男性の会」の立ち上げ支援を行いました。ほかほかまつりでの「パッチ世界選手権」は大変盛り上がりしました。

令和2年度以降、「男性の会」は地域福祉課の生活支援体制整備事業へ引き継ぎます。

コロナに負けず、介護予防!

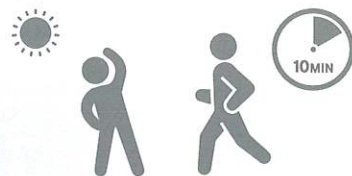
●身体の活動時間が約3割減

国立長寿医療研究センターと筑波大の研究グループで、全国の65～84歳の高齢者1600名を対象に、2020年1月(感染拡大前)と2020年4月(感染拡大期間中)のそれぞれにおける身体活動時間を調査した結果、1週間あたりの身体活動時間は約60分(約3割 245分→180分)も減少していました。感染予防と身体活動の維持の両者のバランスを適正に保つことが重要です。

●感染予防をしながら介護予防

① 運動で介護予防

- ・自宅内や自宅周辺で体を動かすことは大切です。
- ・1日当たりの運動時間を10分は確保するように意識しましょう。
- ・厚生労働省のHPでは全国のご当地体操を紹介しています。



厚生労働省 コロナ 体操

② 食事で介護予防

- ・生活のリズムが崩れてしまうと、食事もとりにくくなります。適度な運動とバランスの良い食事(特に肉や魚、大豆、乳製品、卵などのたんぱく質)を摂るようにしましょう。
- ・毎日買い物等に行けなくなると、どうしても食品数が減りがちになりますが、毎日30品目の摂取を意識するようにしましょう。



③ 交流で介護予防

- ・感染予防のために3密(密閉、密集、密接)を避ける事は重要ですが、交流をすることは介護予防になります。電話やメールなどを使って家族や友人、近隣の方々となるべく交流するのも良いです。
- ・外出する際には、マスクを着用し、直接会って話しをする際には、2m程度の距離を保ち、こまめに手洗いを行いましょう。

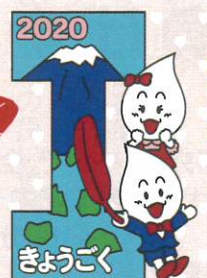


●今の生活習慣大丈夫? 簡単チェックで見直しましょう!

①		規則正しい生活が行えていますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
②		毎日、歯磨きを行っていますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
③		年に1回以上、定期的な歯科受診を行っていますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
④		毎日、3食、きちんと食事を摂っていますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
⑤		週に3回以上、乳製品を摂っていますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
⑥		週に3回以上、肉や魚などを摂っていますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
⑦		週に1回以上外出していますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
⑧		週に1回以上、何らかの運動を実施していますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
⑨		定期的に、誰かと一緒に運動を行っていますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
⑩		ご近所の方との交流はありますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
⑪		電話やメールなどで、友人と連絡を取り合っていますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
⑫		健康についての記事や番組に関心がありますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ

「はい」が多いと、今後も健康で過ごせる可能性が高まります。「いいえ」と回答した習慣を見直すようにしましょう。

じぶんの町を良くするしくみ。
**赤い羽根
 共同募金**



2020年度
**ご当地ピンバッチ
 京極町バージョン**
価格1コ500円
 (内300円が募金額となります)

数量
 限定

羊蹄山ろく6カ町村のピンバッチでコラボレーションしました。



ニセコ



喜茂別



倶知安



留寿都



真狩



京極

それぞれ1個500円で6つ集めると
 ようてい
YOUTEI となります。

各町村のご当地ピンバッチも福祉センターにて取り揃えています。
 今回は道の駅・名水プラザ、ヤマトモリ、名水うどん野々傘にガシャポンを設置しています。ぜひ募金にご協力ください。(ご当地ピンバッチは各町村に募金されます。)

京極町に開設した就労継続支援A型事業所
「ケアサービス ようていの里」を訪問しました

就労継続支援A型とは、一般の会社で働くことが困難な方に対し働く機会を提供する福祉サービスです。

「楽しく一緒に働こう!!」をモットーに虻田郡を範囲として活動されています。

今年4月の開設当初から通われている西さんは、これまで建築現場等で働いてきた経験を活かし、ペンキ塗りや壁の補修等の仕事をされるほか、畑作業も行っているそうです。

「京極町や近隣町村にA型事業所が無いので、この事業所を定着させて地域に貢献したい。」と所長の山下さんは話されていました。今後の活躍を期待しましょう!

お問い合わせは… (TEL 0136-55-5716 担当 山下さん)



**寄付・寄贈に
 感謝いたします**

【期間】3月～5月

【寄 贈】

■森 美恵子様



【寄 付】「福祉基金へ」

- 後藤 岑夫様より、妻の故 後藤 ヒデ子様の生前のお礼として
- 出雲 禮子様より、兄の故 山岡 敏幸様の生前のお礼として
- 若狭 郁也様より、母の故 若狭 文代様の生前のお礼として
- 増田 直美様より、京極町の福祉のために
- 笹原 まゆみ様より、京極町の福祉のために
- 竹浪 クニ子様より、夫の故 竹浪 久仁夫様の生前のお礼として
- 阿部 允子様より、夫の故 阿部 寛様の生前のお礼として
- 佐藤 登様より、妻の故 佐藤 千穂子様の生前のお礼として
- 佐々木 清勝様より、父の故 佐々木 鉄美様の生前のお礼として
- 猪又 啓様より、妻の故 猪又 睦子様の生前のお礼として